

胆道癌における
ディスカバリープロテオミクス
～当院の病理組織と
自科臨床データから
オリジナルな成果を！～

東北大学病院 肝胆臓外科
小野川徹 助教



TOHOKU
UNIVERSITY

ナノテクノロジー・
ネットワークにおける取り組みと
産学官研究者支援による
イノベーション創出

独立行政法人 物質・材料研究機構
ナノテクノロジー融合支援センター 副センター長
北海道大学大学院 生命科学研究院
フロンティア生命材料科学研究室 教授 (兼務)
工学博士
花方 信孝 先生

最先端プロテオーム
解析技術を用いた
疾患バイオマーカー探索の実際

北海道大学大学院 次世代ポストゲノム
研究センターバイオミクスイノベーションハブ
同 薬学研究院 構造生物学研究室 特任准教授
薬学博士

藤井 清永 先生

ホルマリン固定 (FFPE)
肺組織切片を用いた
バイオマーカー探索と検証
～組織から血漿へ～

東京医科大学 第一外科講座 客員教授
横浜市立大学 医学研究科 客員教授 (兼務)
Expression Pathologies Inc. Scientific Advisory Board (兼務)
株式会社 メディカル・プロテオスコープ
常任取締役・株式会社 バイオシス・テクノロジーズ CSO
理学博士

西村 俊秀 先生

小児造血器腫瘍の特徴と
LC-MS による発現糖脂質解析

国立成育医療センター研究所副所長
成育医療臨床研究センター長
慶応義塾大学 医学部 病理学 非常勤講師 (兼務)
東京農業大学 客員教授 (兼務)
医学博士 認定病理専門医

藤本 純一郎 先生

「第2回 NM-GCOE拠点シンポジウム」



第2回 東北大学医学系グローバルCOEプログラム Network Medicine創生拠点 シンポジウム

あなたの臨床検体・実験動物組織が宝物になる！？

**最新の組織サンプル処理技術と
高感度質量分析装置を用いた医学研究の新戦略** ～基本から臨床応用まで～

近年の技術革新により、質量分析ツールは大きく進化し、これ利用した生体分子解析はますます盛んになっております。自動化が進み、操作も簡便になったことから、専門家の手を離れ、多くの研究者に使用されるようになりました。本シンポジウムでは、質量分析装置のユーザーや基礎医学・生命科学研究者のみならず、初心者・学部生・大学院生・病院臨床医にも広く参加を募り、最新情報や研究手法をNM-GCOEとして本学全体に啓蒙し、学内オリジナルな成果創出を目指すことを目的としており、当該研究領域トッランナーである講師の先生方をお招きして、様々なサンプルを利用した基礎研究・疾患バイオマーカー研究・分子病理学的診断の実例をわかりやすく紹介して頂きます。

なお、本シンポジウムの開催前に、最新のサンプル前処理技術・レーザーマイクロダイセクション・質量分析装置を中心とした解析手法を初心者にもわかりやすく解説する「テクニカルセミナー」もあわせて行いますので、多数のご参加をお待ちしております。

日時：2009年 7月11日(土) 13:00～17:00
会場：医学部1号館2階 大会議室(定員 80～150名)

本セミナーは医学履修課程特別セミナー等を兼ねています。受講学生は履修簿を持参し、セミナー修了後にサインを受けること。参加は無料です。聴講は自由大歓迎です。

初心者・学部生大学院生・臨床医必見！

**同時開催！
「テクニカルセミナー」**

**最新のサンプル前処理技術と
質量分析装置を中心とした解析手法**

レーザーマイクロ
ダイセクション技術の最前線

ライカマイクロシステムズ株式会社
リサーチ・テクニカル事業部スペシャリスト
バイオサイエンス博士

山田 誠子 先生

最新の高感度LC/MSシステム
で一体何が出来るか？
～前処理を含んだ基礎から
臨床応用まで～

エーエムアール株式会社
取締役 経営戦略担当
MSA: Master of Science Administration

板東 泰彦 先生

抗体を用いない
質量分析装置による
蛋白質定量の最新技術
～MRM によるMS定量アッセイ～

株式会社 バイオシス・テクノロジーズ
研究開発担当
エーエムアール株式会社
研究開発担当 (兼務)
工学博士

福田 哲也 先生

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 海野 倫明